

旧下ヨイチ運上家

北海道・余市町



江戸時代、松前藩によって設置された、和人とアイヌの人々の交易場所に建てられた建物のことを運上家（屋）という。場所の交易や漁業を請負った商人は、自らも大規模漁業を営み、アイヌを使役し、和人が増えるとその基地化の傾向は強まった。漁期には支配人、通辞、帳役、番人などを置き、休漁期には番人のみ越冬した。

明治2年、場所請負制度は廃止になり、本陣、番屋、住宅などへと移り変わった。

旧下ヨイチ運上家は、場所請負人竹屋林長左衛門が嘉永6（1853）年に改築した当時の古図面をもとに復元され、現在の位置は明治20年代に変更したものである。

運上家建築は、江戸時代から明治時代の漁業史を語る上で欠かせない建築物として、その価値が認められ、国の重要文化財に指定（昭和46年12月）されている。

TOPICS

- ・北海ソーラン祭り 毎年7月第1週の土日開催
- ・特産品：果物、ワイン、あんこう鍋（冬季）

お問い合わせ先

余市水産博物館(余市町教委文化財課)

TEL / 0135-22-6187

URL / <http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>

【交通】

徒歩 / JR余市駅から中央バスで3分 余市町役場前下車10分
車 / 札樽自動車道小樽インターから国道を積丹方面へ30分

